

核医学研究会（第 32 回 核医学夢工房）

場所：保健学科 401 号講義室（10:00 ～ 15:00）

第 31 回夢工房に引き続き、心筋 SPECT 収集について多施設共同研究の結果についてご講演いただきます。また最近の話題として、ドパミントランスポーターシンチグラフィの技術的検討の報告と、近年の核医学検査において新しい技術である心臓用半導体 SPECT システムについて特別講演Ⅱを予定しました。特別講演Ⅰでは、我々が日常診療では学ぶ機会の少ない研究方法についてご講演いただきます。皆様の活発な討論の場となれば幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

【午前の部】 10:00～12:00

1. 10:00～10:40 司会 倉敷中央病院 放射線技術部 松友 紀和

「心筋 SPECT 収集における補正効果の検討 第 2 報」

JA 広島総合病院 高畑 明 先生

2. 特別講演Ⅰ 10:40～12:00 司会 山口大学医学部附属病院 岩永秀幸

「科学的研究法のとほどきー発想から実践までー」

県立広島大学大学院総合学術研究科 保健福祉学専攻（生命システム科学専攻）

大西 英雄 先生

昼休憩（世話人会） 12:00～13:00

【午後の部】 13:00～15:00

3. 特別講演Ⅱ 13:00～14:00 司会 川崎医科大学附属病院 三村 浩朗

「革新的な進化を続ける心筋 SPECT イメージング-最新の心臓専用半導体 SPECT 装置-」

日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院

鈴木 康裕 先生

4. 14:00～15:00 司会 香川大学医学部附属病院 前田 幸人

「ドパミントランスポーターシンチグラフィに対する基礎的検討-新規検査の画像作成をどのように考えますか？-」

松江赤十字病院 陰山 真吾 先生